

歩道等に関する現状と課題について(表大雪地域) ※平成30年春季情報交換会

<全般>

○腐朽した指導標識、看板類の残置



裏旭野営指定池周辺

○し尿の散乱。  
○埋設されたゴミ。



裏旭から間宮分岐へのアプローチ点⇒旭岳

○浸食が進行。



天人峡旭岳温泉方面登山口⇒勇駒別園地  
○登山道の崩落、倒木

北海岳分岐⇒白雲岳避難小屋分岐  
⇒白雲岳避難小屋

○著しい浸食、複線化



白雲岳直下  
○平成28年度から特に浸食、複線化が進行。



白雲岳避難小屋  
○平成28年度から小屋のゆがみや傾きが進行。



緑岳⇒白雲岳避難小屋分岐(板垣新道)  
○平成28年度の大雨により浸食が進行

黒岳石室分岐⇒お鉢平展望台(雲の平)

○著しい側面、下方の浸食  
○風衝地群落、雪田植生への土砂の流入  
※特に平成28年度の台風の影響により側面が浸食された。



黒岳旧野営指定地周辺

○埋設されたゴミ

黒岳⇒黒岳石室

○複線化  
○山頂部から石がながれ歩道が固定せずガレ場化



黒岳石室分岐⇒北海沢

○著しい浸食、複線化  
○赤石川渡渉箇所では、水位上昇(蛇籠の間のスリットに土砂が溜まる)



北海沢⇒北海岳分岐

○著しい浸食、複線化

第一花園⇒赤岳

○第3雪溪の下では上部から流れてきた石が、浮石化  
○複線化、浸食の進行

大雪高原温泉⇒第二花畑

○倒木あり、木階段の老朽化。

三笠新道分岐⇒ヤンベ温泉分岐  
○平成28年度の台風で被災。

高根ヶ原⇒忠別沼  
○著しい浸食、複線化。

白雲岳避難小屋⇒忠別岳(特に忠別岳手前)  
○道迷いを誘発するようなケルンあり。

天人峽化雲岳方面登山口  
⇒滝見台  
○毎年の雪崩による倒木、  
登山道の損傷

滝見台⇒化雲岳  
○著しい浸食(特に側方)

滝見台⇒化雲岳  
○複線化

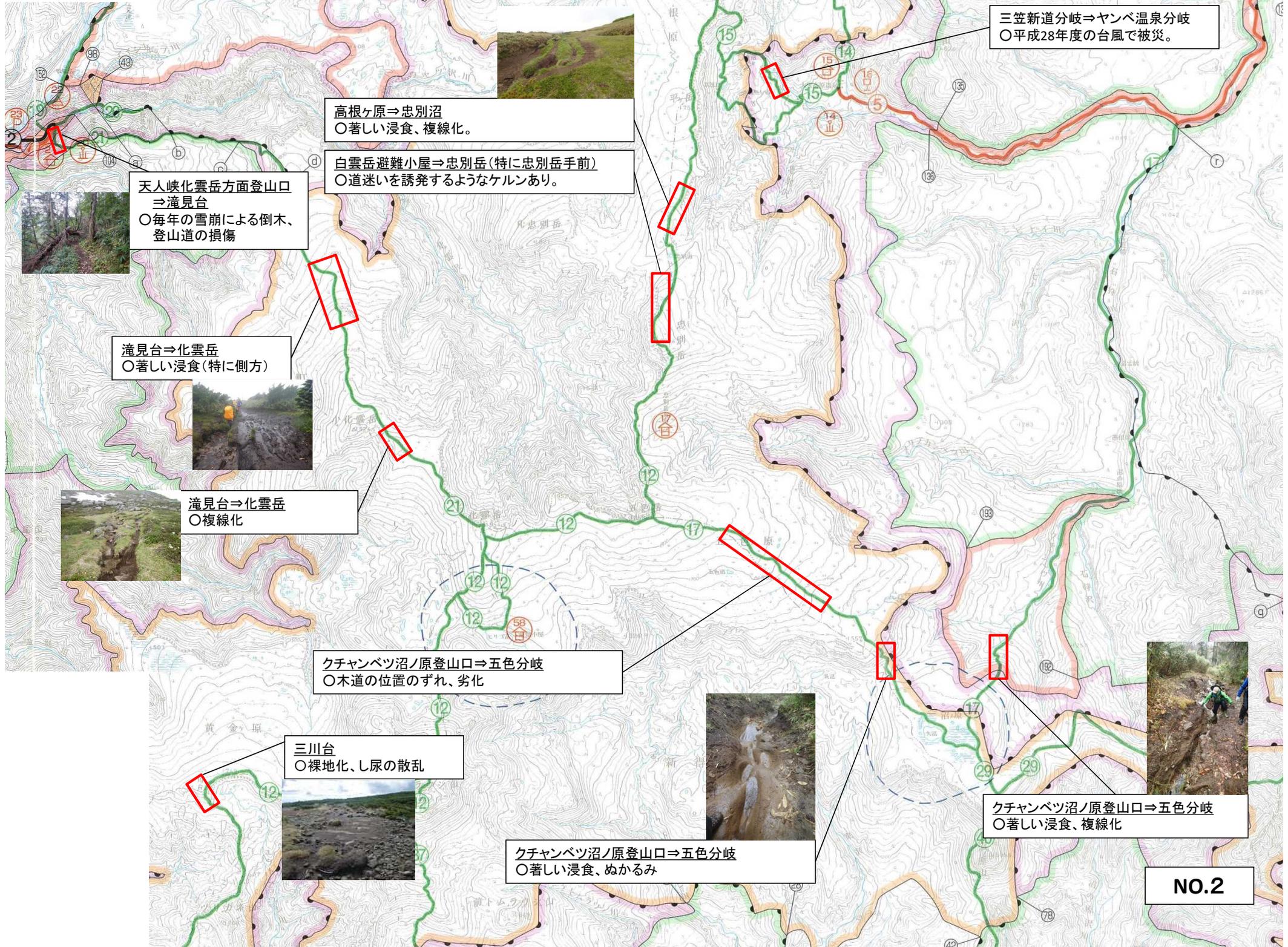
クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐  
○木道の位置のずれ、劣化

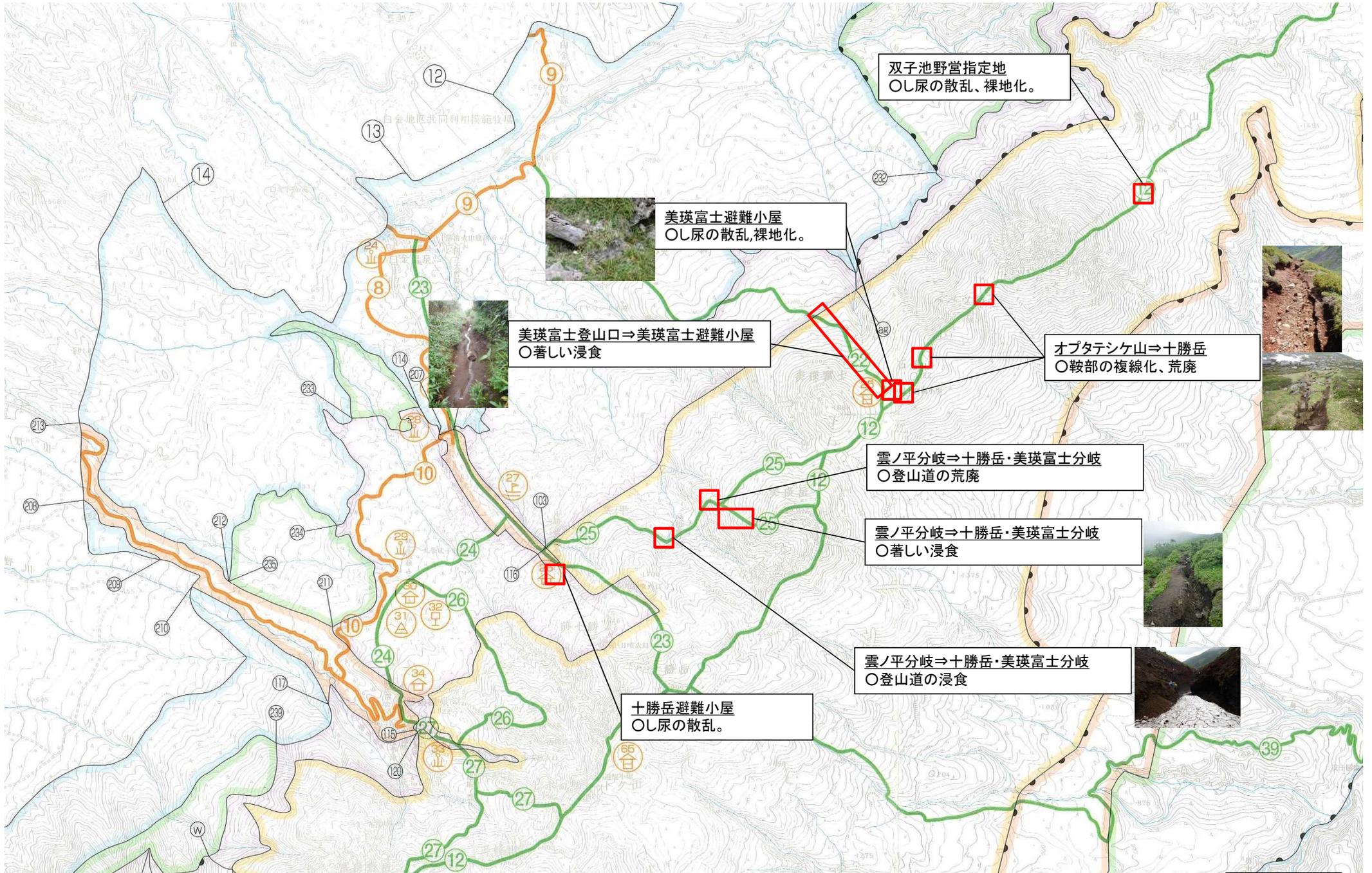
三川台  
○裸地化、し尿の散乱

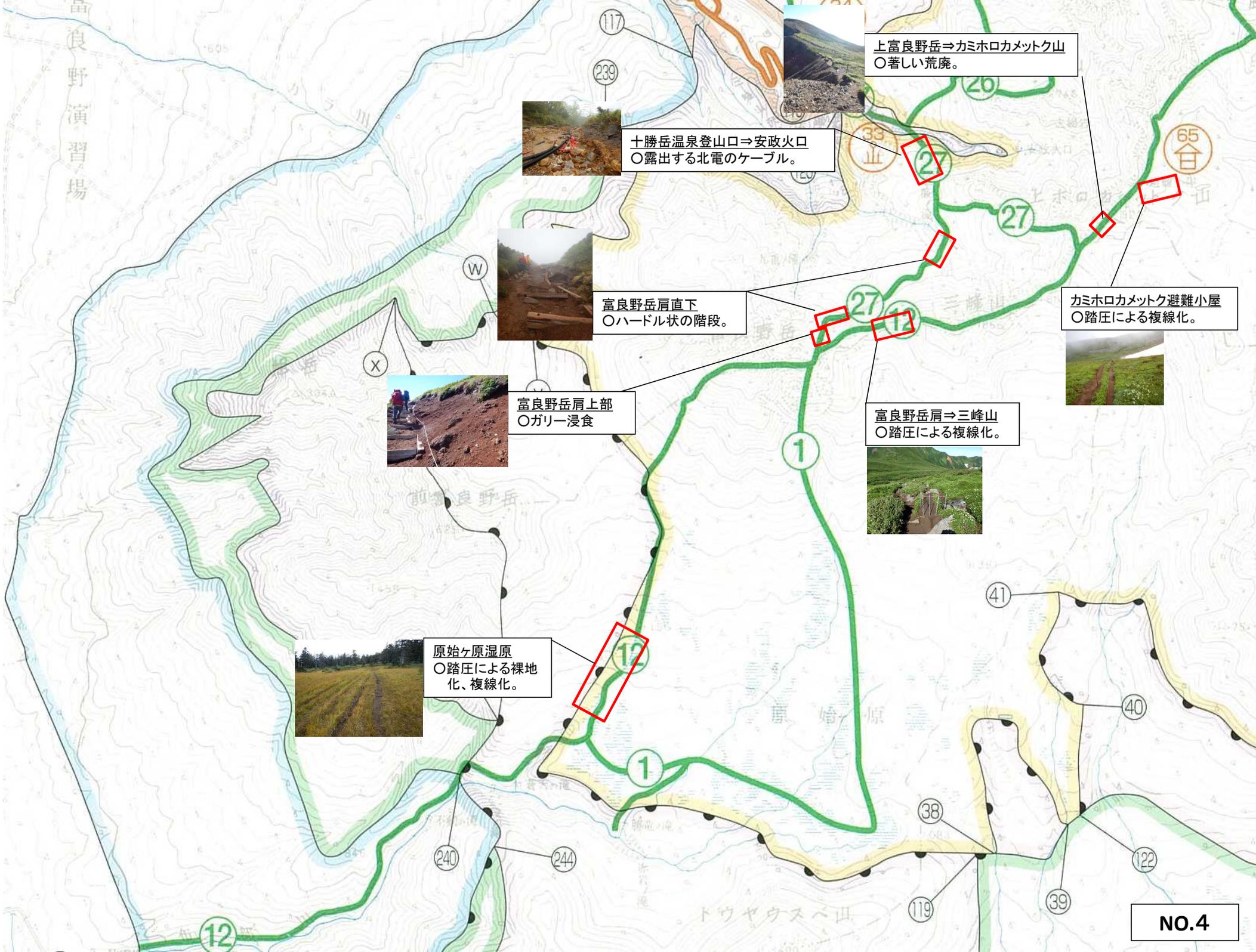
クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐  
○著しい浸食、ぬかるみ

クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐  
○著しい浸食、複線化

NO.2







上富良野岳⇒カミホロカメットク山  
○著しい荒廃。

十勝岳温泉登山口⇒安政火口  
○露出する北電のケーブル。

富良野岳肩直下  
○ハードル状の階段。

カミホロカメットク避難小屋  
○踏圧による複線化。

富良野岳肩上部  
○ガリー浸食

富良野岳肩⇒三峰山  
○踏圧による複線化。

原始ヶ原湿原  
○踏圧による裸地  
化、複線化。